

平成 2 1 年度 実施事業	<b>事務事業名</b> 母と子の健康づくり事業(母子訪問指導)
-------------------	----------------------------------

区分	番号	名 称
章	1	やさしさと共生するまち
節	2	市民一人ひとりが生涯を通じて健康に暮らせるまちをつくる
施策	2	保健予防活動の充実
小分類	2	母子保健の充実
主要な施策	2	新生児等への訪問指導の推進
事務事業番号	001	事務事業コード 12222001 事業開始年度 昭和 5 7 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	乳幼児保健指導経費
------	------	------------	-----------

部 名	保健福祉部	グループ名	健康推進 G
-----	-------	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 新生児・乳児(低体重児)・幼児・妊産婦
手段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 保健師・助産師等が家庭を訪問し、母子が個別に抱えているニーズに対応し、健康の保持増進のための保健指導を行う。
目指す姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 妊娠期から、母親が心身の健康を保ち、よりよい母子関係を確立できる。乳幼児期における子どもの順調な成長
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください) 母子保健法

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標		%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	102				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	6	47	87	87	87	261
合 計				6	47	87	87	87	261
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	2,181	2,493			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	2,340	1,637			
			合 計		4,521	4,130			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後もしもが事業 主体として実施 していくことは 妥当ですか？	→	妥当である  妥当ではない	→ 妥当である理 由、妥当では ない理由は何で すか？
虐待の未然防止と順調な子育てを早期支援する ため、市が実施することは効果的で妥当と考える。			
2. 事務事業の成果について			
成果はあがって いますか？	→	成果があがっている  どちらかといえばあ がっている  成果があがらない	→ 成果があがって いる理由、あが らない理由は何 んですか？
ほぼ出生数に対して事業を実施できている。訪 問指導を行うことにより、養育者が育児を楽し み、育児の不安・負担を軽減でき、子どもが順調 に発育・発達できると考える。			
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させ ることはできま すか？	→	大きく向上させるこ とができる  少し向上させるこ とができる  向上させることはで きない	→ どのようにして 向上させます か？ 向上させること ができない理由 は何ですか？
目標をほぼ達成しているが、今後も母子訪問事 業を推進していく必要がある。			
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさず にコスト（予算 や人工、所要時 間）を削減する ことはできます か？	→	削減できる  削減できない	→ どのような方法 でコストを削減 しますか？ 削減できない理 由は何ですか？
母子訪問事業にかかる消耗品であり、必要最低 限としていることから、これ以上の削減はでき ない。			

担当グループによる評価

<b>維持</b>	左記の評価 を選択した 具体的な理 由（根拠）	核家族化の進行と地域連帯感の希薄化など、親子を取り巻く環境が変化している中、育児不安や育児負担の増加により児童虐待が社会問題化している。順調な育児を支援しながら虐待につながるハイリスク母子の早期発見と育児支援のため、訪問指導は一層の推進が必要。
-----------	----------------------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

<b>維持</b>	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）